

はーとわーく通信

平成 29 年 5 月発行 第 2 号

発行者： 社会福祉法人はーとわーく

〒371-0823

群馬県前橋市川曲町 176 番地 1 TEL027-289-3514 FAX027-254-0185

Email : hatowaku@wonder.ocn.ne.jp

HP : <http://hatowaku.or.jp/>



わたしたちはアーティスト！

平成 28 年 12 月 23 日（土）、平成 28 年度文化庁の大学を活用した文化芸術推進事業「美術館等と連携する地域アートプロジェクトを活用するアートマネジメント人材育成プログラムの構築と実施・評価」の一環として、ふれもに於いてドローイングワークショップが行われました。

このプログラムの受講生はファシリテータとして参加し、障害者アートの方法、多様性、可能性について学ぶことを目的としたものです。はーとわーくとしても日頃経験できない良い機会と考え、ふれも利用者さんの協力を得て実施させていただきました。

講師に手塚千尋氏（東京福祉大学短期大学部）、春原寛史氏（群馬大学）、木村裕子氏（前橋市包括支援センター永明）、そしてゲスト講師として中津川浩章氏（美術作家）が来所されました。中津川氏は埼玉県川口市の障害者施設工房集のアートディレクションに携わっています。

ワークショップのテーマは「みんなでテンやせんから絵を描こう」です。

3m×3mの大きな画用紙にローラーや筆、また車椅子の利用者さんが使えるように雑巾を巻きつけた柄の長いローラーで自由に描きました。ふれも職員やファシリテータと一緒に好きな色の絵の具を選び、線や点を描き色を重ねていきました。道具以外に車椅子のタイヤで模様を描いたり、素足で歩き回りながら塗り重ねたりと普段のお絵かきとは違うダイナミックなアート体験ができました。





癒しの水彩画たち

法人施設内各所に展示されている水彩画は前橋市内で活動されている「詩季彩クラブ」(生松秀樹氏主宰)の方たちの作品です。ふれもの施設内に10点以上展示され、まるでギャラリーのよう。四季折々の花々や風景等に利用者さんだけでなく職員たちも癒されています。

快適です！

「ふれも」や「みらい」では健康や気分転換のために施設周辺を毎日のように散歩をしています。車椅子や歩行の不安定な利用者さんの散歩に職員は細心の注意を払っています。施設西側の整備されていますが、施設西側の整備されていなかった歩道が舗装され安心して散歩できるようにになりました。

道幅の確保に始まり大きなご理解とたくさんの方の工夫等、ご尽力いただいたことに感謝いたします。川曲町のみなさま、どうもありがとうございます。



▲
バリアフリーの道はいいな♪

ボクにもできるよ！



作業がしやすくなりました！

公益財団法人上毛新聞厚生福祉事業団平成二十八年年度「愛の募金」の配分によりふれもで電動空き缶潰し機を購入することができました。今まで手作業ではつぶすことができなかった利用者さんも缶つぶしリサイクル作業に取り組むことができるようになり、活動の巾が広がりました。



ボランティアさん紹介

ふれも開所当時から食事介助や菜園・花壇等の手入れのボランティアとしてお世話になっていらっしゃるお二人です。色とりどりに咲く花に季節を感じ、楽しませてもらっています。菜園で収穫した新鮮な野菜は給食食材として利用することも。いつもありがとうございます。

ふれも菜園



▲
右、有坂さん
左、佐藤さん

ここみ

どんなお話が聞けるのかと、ワクワクして参加しました。私たちは、日々利用者様に接する中で、どんな小さな情報でも収集して支援に厚みを持たせ、より良い支援にできればと思っています。相川先生の研修では、対人関係の仕事をさせていただいているということ、その人に会う前のこちら側の準備の大切さを改めて学びました。利用者様と対等に向き合い、利用者様をわからせてもらう。自分とは価値観が違う人をわからせてもらうということの大切さがわかりました。

研修後に下記のような感想文を出して下さった方がいます。

「上から目線にならないで共感し合う。落ち着いた雰囲気作りを心がける。言葉や態度・表情でピリピリしたりホッとしたりと変化されるので、私自身が柔らかく接することが相手にリラックスしていただく第一条件かなと思っています。緊張が解れ、寄り添う身体がゆったりしたら手を当てる。(手を身体にそっと当てる手当はホッとできると聞きました) ゆったりした時間が持てれば、それがリラクゼーションだと思っています。」

ハンディを持っている人と、自分たちの「当たり前」をどう考えるかというところから内面からのリラクゼーションを考え直す良い機会となりました。(萩原)

「利用者様向けリラクゼーション と職員向けストレッチ研修」

平成29年2月16日



「交通安全研修」

平成29年4月12日

「救急救命研修」

平成29年3月14日

放課後等デイサービス

～障がいのある子をよりよく支援する取り組み～

(株)アローウィン 製作・著作

はーとわーくから村岡職員が
監修のお手伝いをさせていただきました。



みらいの活動

暖かい季節の訪れとともに、みらいに5人の新しいお友達が加わり、さらに賑やかで楽しいみらいになりました。春休みには、毎年恒例の前橋公園へのお花見に出かけました。満開の桜も綺麗でしたが、こども達は屋台の美味しそうな匂いやお散歩中のワンちゃんにも興味津々……。楽しい外出になりました。



ぷれも

成人式



1月12日(木)、成人を迎えられた利用者さんと一緒にお祝いをしました。一人一人の生い立ちを振り返り、「今」に感謝です！



4月6日(木)、今年は卒業生3名、新しく利用して下さった方1名を迎えて入所式を行いました。



入所式

かりん

28年度より公益事業として始まった「かりん」では、「障害のある方の地域での生き生きとした生活を支えるための学習プログラムの研究」をテーマに東京福祉大学 立松英子教授のご指導の下、県内9事業所の方々とともに勉強会を行いました。

事前研修3回、定例勉強会5回と巡回指導を受け、目的意識と着眼点を深めることができました。



お願い

裏面でご紹介しましたように、ぷれもでは、缶つぶし(リサイクル作業)を日中活動として行っています。ご家庭・職場に**アルミ空き缶**がございましたら寄付いただけないでしょうか？空き缶は洗った状態でいただけると更にありがたいです。

ご協力よろしくお願い致します。

リレートーク

私は、生活介護ぷれもで調理員をしています。利用者さんに美味しく安全に給食を召し上がっていただけるよう栄養面衛生面に注意し、季節や行事等も意識しながら日々調理をしています。下膳の空の食器を手取る時に、この仕事をして一番喜びを感じます。ぷれものキッチンオープンタイプなので利用者さんとの直接のコミュニケーションも楽しみの一つです。(青木千鶴)

<編集後記>

この季節は、様々な花が咲き木々も日差しを浴びて緑が眩しいですね。自然と気持ちも上向きになり行動的になる季節でもあります。去年一昨年とぷれもの軒先にツバメが巣作りに来てくれたのですが、今年も来てくれるかな〜と心待ちにしています。

青木 